

子どもの健康と病気の予防⑬

－ 令和5年秋開始新型コロナワクチン接種 －

小宅医院 小宅民子

9月20日から「令和5年秋開始接種」が始まりました。初回接種を完了した生後6ヶ月以上の人が対象となります。5歳以上のこどもは、1・2回の初回接種、生後6か月～4歳のこどもは1～3回の初回接種の完了が必要です。また、最終の接種から3か月以上の間隔を開けます。接種回数は1回です。

前回の「令和5年春開始接種」と大きく違うのは、ワクチンの種類が変わることです。日本において新型コロナウイルスは、従来株からアルファ株、デルタ株、オミクロン株へと変異してきました。さらにBA1からBA5へと変異し、現在はXBB・1系統へと移行しています。今回は、流行の主流になっているオミクロンXBB・1系統に対応したワクチンとなっています。既存のワクチンは、流

行の主流であるXBB・1系統に対しては、中和抗体（ウイルスの感染力又は毒素の活性を中和し、感染、発症や重症化を防ぐことができる抗体）の上昇が低いとされています。今回のワクチン接種により、より高い中和抗体の上昇が確認されており、重症化予防効果はもとより、発症予防効果が期待されます。

これまで3年間、年末年始に新型コロナは流行しています。重症化リスクの高い高齢者や、重篤な基礎疾患を持つ方には、XBB対応のワクチンを勧めています。また、9月20日以降、初回接種のワクチンもXBB対応のワクチンになります。



令和5年秋開始新型コロナワクチン接種の5つのポイント！

- ① 対象者は初回接種を完了した生後6ヶ月以上の人
- ② 接種間隔は最終の接種より3ヶ月以上開ける
- ③ 接種回数は1回
- ④ ワクチンはオミクロン株(XBB.1.5)の1価ワクチン
- ⑤ ワクチン接種により、重症化予防効果、発症予防効果が期待できる

